

避難所用 ケータイ充電ツール

これから 30 年以内に当地が震度 6 以上の大地震におそわれる確率は 60 % を超えたそうだ。災害の教訓は神戸や中越の地震から参考になることが多い。

避難所で人々が困ったことはトイレ問題等、多々あるけれど携帯電話のバッテリー切れで充電に苦労したそうだ。

従来にないほど頻繁に使った後は限られたコンセントに群がるのは当然だろう。

それも避難所に電力が確保できていればまだいいが震災後の 2 - 3 日はそれも困難だと思われる。更に各家庭での電力が復旧するのは更に先だろう。

そこでこんなツールを考えてみた。

車のバッテリーなら身近にあるし簡単に空いている車から外せるだろう。

それを避難所に持ち込み何台かの携帯を同時に充電できる場を確保するアイデアだ。

写真のようにバッテリーにつなぐクリップと充電プラグをセットにし必要数をどんどんつないで延長できる構造である。容量的には 1 個のバッテリーから 10 個の同時充電ができる。携帯のメーカーにより充電プラグは 3 種類を用意しておくのがいいだろう。

通常の電力が復旧したら今度はバッテリーの変わりに 100V から 12V に変換する装置もあらかじめ用意しておく。これは量販店等で市販されている充電器が使える。

借用していたバッテリーも充電して返却できるだろう。

避難所の生活は場合により 1 ヶ月にもなるから大いに活用できるのではないだろうか。

こんな装置を市民と行政のタイアップで製作して各避難所に置いておけば

震災直後の混乱で行政が最優先の業務で手一杯のときでも製作にかかわった市民の指導のもとに有効に活用できるだろう。

ものづくりの大切さを次世代に伝えるのには製作に中高校生を巻き込むのもいいと思う。

